

## 「PF ニュース」からのお知らせ

平成 24 年度の PF-UA の発足に伴い、PF ニュースはウェブ版が主体となりましたが、引き続き冊子版も発行し、ご愛読を賜り感謝致します。今後も新しい企画記事の連載など誌面の充実につとめ、PF ニュースをより魅力あるものにしていきます。ウェブ版 PF ニュースには、冊子版では白黒となっている図等もオリジナルのカラーのものを掲載しています。ウェブ版もお楽しみ頂ければと思います。

ウェブ掲載時にはメールでお知らせするシステムも運用しています。希望される方は、どうぞご登録下さい。

(<https://www2.kek.jp/imss/pf/pfnews/oshirase.html>)

PF ニュース編集委員一同

## 投稿のお願い

### 【最近の研究から】

PF で行われた実験、研究の成果をお寄せ下さい。

### 【建設・改造ビームラインを使って】

特にビームラインの改良点、他のビームラインとの比較、要望等を是非お聞かせ下さい。

### 【ユーザーとスタッフの広場】

PF での実験の成果等が認められ受賞された方、海外放射光施設に滞在、訪問された方、国際会議等に参加された方、修士論文等、どうぞご投稿下さい。また PF に対するご意見等がありましたら是非ご投書下さい。

詳細は PF ニュース HP をご覧下さい。

## 宛 先

〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1  
高エネルギー加速器研究機構  
物質構造科学研究所 放射光実験施設内  
PF ニュース編集委員会事務局  
TEL : 029-879-6196 FAX : 029-864-2801  
Email : pf-news@pfiqst.kek.jp  
URL : <https://www2.kek.jp/imss/pf/pfnews/>

## 編集後記

2026 年度が始まりました。個人的な話になりますが、筆者が PF にお世話になり始めてからちょうど 20 年になります。20 年前、私が初めて使った PF のビームラインは当時の BL-11A でした。光学系や計測系のマニュアル調整など、今思うととても教育的な軟 X 線ビームラインであり、BL-11A での X 線吸収分光実験は私にとって代えがたい経験となったことは間違いありません。今や BL-11 は開発研究多機能ビームラインとして生まれ変わり、綺麗な薄紫色の大きな実験ハッチを見ると時代が変わったことを実感します。

他のビームラインでも年々更新や再構築が進められてきて、実験装置、あるいは実験手法そのものが様変わりしたところも多いと思います。近年、リモート測定が整備されデータ科学や AI の普及も進み、良質なデータを効率よく大量に採れるようになって、はるかに便利になったと感じます。便利になったということは、反面、ブラックボックス化してしまっただ部分が多々あるとも言えます。それでも PF は (UVSOR や HiSOR と同様に)、他の放射光施設に比べれば、良い意味でクラシックであり教育的な施設です。ぜひ若い皆さんには、効率よくスマートに実験することも大事ですが、このクラシックな要素も学んでほしいと思います。50 歳手前にしてこんな説教めいたことを書いている自分はどうなんだろうと思いつつ、今年度も頑張っていきたいと思います。(D.A.)

## \* 2026 年度 PF ニュース編集委員 \*

委員長	田辺 幹雄	物質構造科学研究所		
副委員長	佐々木大輔	慶応義塾大学 理工学部		
委員	朝倉 大輔	産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域		
	宇佐美徳子	物質構造科学研究所	城戸 大貴	物質構造科学研究所
	君島 堅一	物質構造科学研究所	木村 耕治	名古屋工業大学 物理工学科
	阪田 薫穂	物質構造科学研究所	志賀 大亮	東北大学 多元物質科学研究所
	千田 美紀	物質構造科学研究所	高木 宏之	加速器研究施設
	松井 高史	富士フイルム (株) 解析技術センター		
	三石 夏樹	名古屋大学大学院 理学研究科		
	山本 達	東北大学 国際放射光イノベーション・スマート研究センター 兼 多元物質科学研究所		
	湯川 龍	東北大学 国際放射光イノベーション・スマート研究センター		
事務局	加世田 薫	物質構造科学研究所		